

平成27年（2015年）9月18日外部評価実施

千里地域包括支援センター（北東部圏域）

## 「評価結果の概要」

### センターが把握している圏域の特徴

総人口：61,839  
高齢者人口：15,247  
高齢者率：24.66%

北東部圏域は万博と共に開発された千里ニュータウンで、開発後50年を超え、住民の高齢化と建物の老朽化という課題に直面し、近所づきあいの希薄化、次世代への交代、建て替えによる住民の負担、建て替え後の地域コミュニティの確保が課題となっています。また、建て替え後の新しいマンションはセキュリティが高く高齢者の生活実態が見えにくいという現状があります。

### センターの取組方針や特徴

「つむぐ」「予防」をキーワードに新規事業所、コンビニ、商店、医療機関への広報活動を実施しています。関係機関が協力しながら居場所づくり、活動づくりの役割を担うとともに医療、介護、福祉に繋がる地域に向けた取り組みをしています。

### 総評

#### 【特に評価の高い点】

##### ●センターの周知について

地域住民にセンターを知ってもらうために、建物外観からでもわかるように、大きく目立つ表示をしています。また、「新千里東町地域自治協議会」のホームページにも地域の相談窓口として紹介されています。

##### ●事業計画について

事業計画の作成は前年度の課題を担当者から報告し、全職員で取組み内容を検討しています。ミーティングで進捗状況を確認しながら「ひとつひとつ」確実に取り組んでいくようにしています。

#### 【特に改善を求められる点】

##### ●研修について

事業計画に職員研修の計画的な実施や伝達研修などが課題としてあがっています。積極的に外部研修に参加していることは確認できましたが、伝達研修や復命書の記載に不十分な点がありました。記録の仕方を工夫してスキルアップのための「情報共有」を確実なものにすることが求められます。

##### ●高齢者虐待の防止に向けた普及啓発の取組について

成年後見や認知症に関する普及啓発の取組みは見られるものの、地域住民に対しての高齢者虐待防止、及び関係機関に対しての高齢者虐待を判断する研修等への取組みが見られませんでした。高齢者虐待に関する普及啓発に取り組むことが求められます。